



性教育の講師を終えて

3月10日(日)に、オンラインでNPO法人デートDV全国ネットワーク主催の「デートDV防止スプリングフォーラム」に講師として参加しました。後援が内閣府、文部科学省、厚生労働省という大きな研修会に呼ばれるのは初めてで、とても緊張しました。

基調講演は助産師で性教育チューターでもある「シオリヌ」さん。その他、企業の中でDV施策をされている「高畑有未」さん、

ライターであり当事者でもある「松岡宋嗣」さんなど、著名な方々ばかりの中で参加者に納得できる話ができるのか不安でした。

特に企業のダイバーシティ施策の中でデートDV・DV施策をしている高畑さん、スライドの中にも横文字、カタカナが並び、その度にスマホでググる私……。もっと勉強しないと〜との思いと、私への質問で、聞いたことのない横文字で聞かれたらどうしよう……。と、参加中の焦りは半端なかったです(笑)

全ての講演が終わり参加者同士の交流会が15分ほどありました。助産師さんやデートDV活動をしている方など1グループ6名ほどでの交流会です。参加したグループの中で、健常児の中・高校生に今まで性教育を教えてきたけれど、最近、支援学校やAngeと同じような放課後デイサービスから性教育の依頼があるという方がいました。その方から「障害児に距離感を教えてくれと言われたけど困った。境界線や距離で伝えたいけど……。そうしたら、物差しを出してきて長さを測り始めた。距離感を境界線と距離のどちらの言葉を使って教えたらいいですか？」という質問がありました。私はこの質問にAngeでは、どちらの言葉も使っていません。距離感を掴むのはとても難しいです。状況や環境によって、人との距離感は違います。例えば、混んだエレベーターに待っている人が多い中、あともう一人、二人乗れるから乗ってしまえ！と乗ろうとしたとします。乗っている人が「距離感が取れないので乗らないでください」なんて言おうものなら「なんて空気が読めないんだ！」と、周りの人から思われてしまうでしょう。時と場合によって、距離感は変わってきます。ただ、自分がOKかNOかです。距離を決めるのはお互いその人自身です。「それ以上近づかないで。」「そばにいてほしい。」「今日は一人でいたい。」など、人との距離を自分で決めて伝えられる力が大切と伝えました。

それは、自分で選んで決める力で、Angeでも大切にしています。学校や家庭において先生や友達、親からのサポートが多かった子は、自分で決められないことが少なくありません。自分で選んで決める力である「自我」が芽生え、しっかり太らせていく活動を、これからもたくさん取り入れたいと思います。

来月から卒業、進級に伴い新しい環境で活動が始まる子どもたち。しっかり自我を出し、自分で選んで決める活動を沢山経験して欲しいと思います。

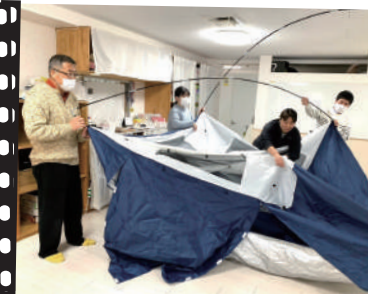
郡 奈美



防災カフェを開催しました！

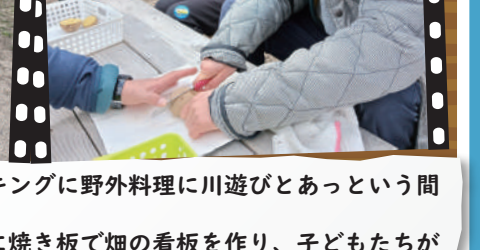
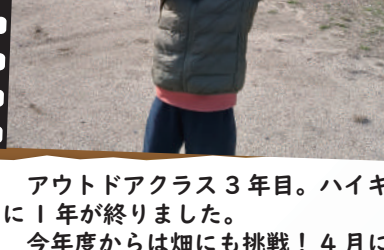


2月22月(木)に開催した防災カフェは、元日に起きた能登半島地震を受けて研修に申し込んだという方もいらっしゃる、期待が膨らんでのスタートでした。(発災したときにどこでどんな風に過ごせるのかは不安の一つ。)簡易テント・簡易ベッドなどの避難した先で支給されるであろう備品を参加者で協力して組み立てました。組み立てるとなんとなく避難所での過ごし方がイメージできるものです。ところが最後に講師の水上が一言。「この備品を使えるのは選ばれし人たちだけです。」それは、備品には数の限りがあり、避難場所によっては無いことや、先着順ではなく配慮が必要な人を優先に貸し出されることなど、避難してきた人全員に配られるわけではないという意味です。参加者の一人に「個人のテントを持ち込んでいいのか」と質問された方がいらっしゃいました。もちろん可能です。ただ、その言葉の裏に行政に頼りきれない本音が隠れているのを感じました。



土曜日クラス

アウトドア



アウトドアクラス3年目。ハイキングに野外料理に川遊びとあつという間に1年が終了しました。

今年度からは畑にも挑戦！4月に焼き板で畑の看板を作り、子どもたちが「Ange農園」と命名！じゃがいも・トマト・さつまいも・ほうれん草・大根と色々な野菜を植えました。初めに収穫したじゃがいもは掘っても掘っても出てこず失敗しましたが、他の野菜は順調に育ち収穫することができました。今は玉ねぎにそら豆、そしてリベンジのじゃがいもを植えています。また収穫する日が楽しみです。

活動の一つの火付けでは、今までは怖くて遠くから火の様子を見るだけだった子が、友だちがマッチをつけているのを見て「ぼくもやってみようかな?」と挑戦しました。やってみると意外に大丈夫と安心したようで、新聞紙に火が移ると「ついたなあ」とホッとした表情と共に嬉しそうに笑顔で言っていました。1人では難しくても友だちがやっている様子を見て【やってみようかな】と思えることが集団の良い所だなと感じた場面でした。大人からするとちょっとしたことですが、自分の力でやり切る経験は子どもたちにとって大きな自信へと繋がっていきます。ちょっとしたきっかけは活動の中に沢山散りばめられており、子どもたちの【やってみようかな】の勇気を引き出せるような活動をこれからもしたいと改めて思いました。

～評価表についてのお知らせ～

HPのトップページ下からも評価表を見ることができます

この度は評価表の回答にご協力いただきありがとうございました。結果を当法人ホームページに掲載しております。結果については法人内で話し合い、今後できる所は改善していきます。内容等も詳しく書いておりますので、是非ご一読ください。



研修実施予定！申し込み受付中！

5/16(木)

障がい者の生活の場について(仮)

講師：田中 智子氏
(佛教大学 教授)

※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。オンデマンド配信あり！

■場所:Ange(服部)又はzoom ■時間:AM10:00～ ■参加費:Ange保護者500円・外部の方1000円/1名
■申し込み・お問合せ:TEL(06)6151-2996 Mail:nakagawa@tokuyo.me 担当:中川



4月からの送迎ルートと送迎時間変更について

・4月から曜日ごとの利用者様の変更に伴い送迎ルートも変更になります。
・**ご自宅へのお送り時間・お迎え時間とも、これまでと変わる可能性があります**のでご協力よろしくお願い致します。